



新年のご挨拶



あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新年を、ご家族お揃いで、健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃から町政に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今年の干支は「庚子（かのえね）」、十二支は「子（ね）」となります。諸説ありますが、この十二支の文化は殷の時代より三千年以上の歴史を持ち、本来は植物の生育を十二段階で表したものであり、二千年ほど前に植物の循環から現在の動物に変化してきたといわれています。

「子」は始まりの意味で、成長し花を咲かせた植物が枯れ、次の世代のために種を生み出し、新たな発芽に備えて地中でエネルギーを蓄えてきた時期から、新たな芽を出し成長へと繋げていく年といわれています。

今年、昭和30年に3村が合併し安八村が誕生して65年、昭和35年に町制施行して60周年という節目の年を迎えることとなります。先人の方々のご尽力により、植物の循環のよきうに成長、発展を遂げ、豊かな生活を享受できるようになりました。しかし、平成の時代も後半に入ると、大手企業の撤退などもあり、今まで支

えてくれていた豊かな財政基盤が揺らぎ、安八町は大きな岐路にあります。

そのなかで一昨年3月24日に町内を通る名神高速道路に安八スマートICが完成、供用開始となりました。まさに次世代に向けた極めて重要な「種」であり、将来に繁栄をもたらすための「手段」を私達は手にすることができました。

自然減を社会増が補う形で町人口はほぼ現状を維持してきましたが、出生数は減少傾向が顕著になり人口も昭和63年以来およそ40年ぶりに1万5千人を下回りました。今後、本格的な人口減少、超高齢社会へ移行していくなか

で、町財政も依然として厳しい状況下にあります。

本年は、都市計画区域の見直しが行われます。安八スマートICを核として、市街化区域の拡大、企業誘致の促進を最重要課題として取り組み、経営資源である税収の確保に繋がっていきます。安八町の将来を支える若者や子どもたちに豊かな町を繋げていきたいと考えています。これからも温かいご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後にこの一年が皆さまにとりまして、輝かしい良き年になることを心から祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

安八町長 堀 正